ここにタイトルを12ポイントMSゴシックで記述し、この文章を削除する

所属　〇〇学部　〇〇学科

学年　○年

氏名　福祉　太郎

要旨

　今回の海外研修・調査奨励金に関する要旨を、200字以上400字以内のMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

第１章　計画

第１節　研修・調査の目的とテーマ

　研修・調査の目的やテーマについてMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。なお、節毎に文字数に偏りがあっても良いが、タイトルや要旨、注、引用文献を除く本文全体で6,000字から8,000字になるように調整すること。

第２節　専攻分野との関連や課題の位置付け

　今回の調査・研究とこれまで学んできた専攻分野との関連や課題との位置付けについてMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

第３節　目的達成のための計画

　目的を達成するために事前に立てた計画や行った準備についてMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

第４節　自主性についての説明

　研修・調査の計画や準備に対する自主的な活動についてMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

第２章　成果

第１節　海外で研修・調査したことの意義

　日本国内でなく、海外に行って研修・調査したことの意義についてMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。たとえば、異文化の理解や知見を広げることにつながった、異文化体験を通して日本の特徴や課題に気づいた、日本で暮らすということについて考えることができたなどを具体的に記述する。

第２節　目的の達成具合

　研修・調査を実施して予定していた目的がどの程度達成できたのかについてMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

第３節　学内や社会への還元

　ゼミの中での発表や後輩への指導、ふくしAWARD等での発表、就職先での活躍といった学内や社会に対し、研修・調査によって得られた成果をどのように還元するのかについてMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

第３章　まとめ（その他）

　本文全体のまとめ、その他特筆すべき内容があればMS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

注

1)注があれば、MS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

2)注が足らなければ、この下に追加しても良いし、不要であれば削除しても良い。

引用文献

1)引用した文献があれば、MS明朝（英語表記の場合Century）10.5ポイントで記述し、元からあったこの文章は削除する。

2)引用文献が足らなければ、この下に追加しても良いし、不要であれば削除しても良い。